

比較家族史学会

比較家族史 14

事務局 〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学社会科学研究所 利谷研究室

第一七回研究大会プログラム

日時 一九九〇年六月九日(土)・十日(日)
場所 お茶の水女子大学 一般教育二号館
東京都文京区大塚二一一一
(TEL. 〇三一九四三―三二五一代)

第一日(九日) 午前一〇時開会

◇会長挨拶

大竹 秀男

◇テーマ報告(家と屋敷地)

・西播磨における荒神信仰について

地主 喬

10:15

司会

田中 久夫

・漢民族における屋敷地と死霊の関係

植野 弘子

―台湾の事例から―

10:55

司会

末成 道男

・ジャワ農村の屋敷地と農家経済

加納 啓良

11:35

司会

北原 淳

◇昼食(幹事会) 12:15

◇テーマ報告

・前近代イギリスにおける家と屋敷地

国方 敬司

13:15

司会

三好 洋子

◇シンポジウム「家と屋敷地」

13:55

司会

熱田 公

◇懇親会

午後五時

お茶の水女子大学生協食堂

会費 四〇〇〇円程度

第二日(十日) 午前一〇時開始

◇テーマ 女性をめぐる縁組 (alliance)

◇趣旨説明

田中真砂子

◇テーマ報告

司会

大口勇次郎

・成育儀礼からみた親族関係

―平安中期を中心として―

10:15

司会

服藤 早苗

・若狭地方における里帰り慣行と主婦権

10:55

司会

中込 睦子

・農家婚入者の家族役割経歴

―嫁・主婦・姑―

11:35

司会

岩上 真珠

◇昼食

12:15

◇総会

13:00

◇テーマ報告

・韓国家族における嫁と姑

司会

渡辺 欣雄

14:00

司会

竹田 眞

・女性・男性・子どもの交換

―『基本構造』との関連で―

14:40

司会

遠藤 史

◇休憩

15:20

◇テーマ報告

・財産相続に見る中世スペイン女性の生家と婚家における立場

司会

奥山 恭子

15:30

司会

芝 紘子

・実親との関係・夫親との関係

―その法社会学的検討―

16:10

司会

湯沢 雍彦

運営委員

大口勇次郎(委員長)・田中真砂子・村武精

一・植松明石・湯沢雍彦・高木 侃・寛久

美子

第一七回大会の運営と第二日目テーマ 「女性をめぐる縁組 (alliance)」について

田中真砂子

春と秋、秋と次の年の春というように二回の学会をセットにして一つのテーマで研究大会を行うというシステムが幹事会で承認され、第一六回研究大会（於神戸大学）からスタートしたのは皆様御存知の通りである。この方針にそって第一六回大会では「家と屋敷地」のテーマで「頭出し」の報告がなされ、来る六月の第一七回大会（於お茶の水女子大学）で補足の報告とシンポジウムが行われる。しかし同時に今秋行われる第一八回研究大会（於摂南大学）へ向けての「頭出し」の研究報告を組むという枠組を与えられて六月の学会をお引受けすることになってしまった。大会を一ヶ月半後に控え、このように難しい条件をうまくクリアすることができると心配でならない。前後の研究大会との継続性を明らかにするため、本大会ではシンポジウムを第一日目に組み、第二日は新たなテーマで報告を行っていただくという、いささか変則的な日程を組むことになってしまったことを御理解いただきたい。

さて第一七回大会での「頭出し」テーマは「女性をめぐる縁組 (alliance)」と定まった。当初企画委員会から運営委員会に与えられたテーマは「嫁と姑」というものであったが、これでは対象としてとりあげ得る社会や時代がかなり

限定されてしまうのではとの意見が多く、運営委員会で討議の結果、このような題におちついた次第である。

「縁組」(alliance) という概念は、人類学においては、二つ以上の外婚集団の間で交叉イトコ婚が超世代的にくり返され、妻としての女性と婚姻給付が不可逆的に一定方向に動くようなシステムにおける連帯関係をさしてレヴィンストロースが提示したものである。しかし、今回のテーマにこの語を用いたのはそのような意味においてはではない。婚姻関係の成立を期に今まで他人であった人々の間に姻族としてのさまざまな関係が生ずるが、それはいったいどのような性質の関係であり、どのような人々の間に発生するのか、比較社会的に、歴史的に、そして学際的に眺めてみようというほどの意味であった。「女性をめぐる」とつけたのは、結婚する女性を中心に据えることによって、姻族間の多様なあり方の記述や分析にある程度の視点の統一がはかられるのではないかと考えたからである。

どのような内容のものになるかは、専門領域の異なる研究者の報告や、それをふまえてのシンポジウムの結果を待つしかないが、可能と思われるトピックのいくつかを左に並べてみた。

もちろんこれは文化人類学を専攻している私の個人的思いつきにすぎず、この他にもさまざまなトピックやアプローチは可能であろう。他方たった二日間（第一七回の日と第一八回の日）の報告、討議で左にあげるすべてのトピッ

クをカバーできるとも思えない。

- ・ 婚姻を期に成立する姻族間（集団と集団、集団と個人、個人と個人）の関係

- ・ 婚入者の婚家における地位・役割とその変化（たとえば妻・嫁という姻族 母という血族 へ）

- ・ 結婚した女性にとっての生家と婚家

- ・ 主婦権

- ・ 夫にとっての妻方親族と妻にとっての夫方親族

- ・ 婚姻をめぐる法的関係

- ・ 婚姻をめぐる経済関係

- ・ 母族（外戚）、その霊的権威と政治的意味

- ・ 「近代化」と既婚女性の地位

大会二日目のプログラムは、まず日本からスタート、古代史（服藤報告）、民俗学（中込報告）、農村社会学（岩上報告）の立場からの報告を受ける。午後は韓国（竹田報告、民俗学）、インドネシア（遠藤報告、文化人類学）、スペイン（芝報告、社会史）と広げ、最後に現代日本の都市既婚女性が自己の親族・夫の親族とどのような関係をもつか、法律的・社会的に整理していただくこととした（湯沢報告）。

研究大会に関連する連絡事項

1 お茶の水女子大学への交通機関

○ 営団地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車

（大学東門Ⅱ正門へは）改札口を出て春日通りを左へ約三六〇メートル。

（大学南門へは）改札口を出て春日通りを左

へ約二二〇メートル、運動具店のある角を左折、約三〇〇メートル。

○営団地下鉄有楽町線護国寺駅下車
(大学南門へは)音羽方面出口を出て左へ、大塚警察署のある交差点を左折、約四〇〇メートル(駅出口に表示板あり)。

◎六月一〇日(日)には東門(正門)以外の門は開いておりませんのでご注意ください。
なおお茶の水女子大学の構内地図を同封しましたので、参考にして下さい。

2 弁当の予約について

会場近くには食堂は多くありませんので、弁当を予約していただければ便利かと存じます。弁当は代金八〇〇円でご予約を承っております。必要な方は、同封の出欠のハガキにてお知らせ下さい(ハガキに〇印をお書き下さい)。

3 研究大会についてのお問い合わせ先

田中真砂子(運営委員会)
研究室 〇三一九四三―三一五一 内390
自宅 〇三一九四七―九五二五

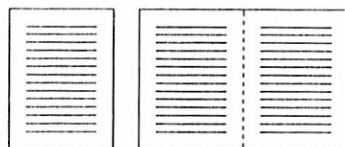
4 出欠のご連絡は同封のハガキにて五月二五日までに(必着)お願いいたします。

5 研究大会報告のレジュメについて

発表予定の先生は六月一日までにお茶の水女子大学田中真砂子研究室あてに一部ご郵送下

さい(期日厳守)。期日到着の分につきましてはコピーは会場校がいたします。(レジュメの枚数は一人B4四枚までとして下さい)。期日までにお送りいただけない場合には、恐縮ながら各人数分のレジュメをご用意くださるようお願い申し上げます。

なお別に一〇〇〇〜一二〇〇字の報告要旨一部を、同日までに前記あてにお送り下さい。



レジュメの形式は今後できるだけ上記のようなB4横書きでお願いいたします。報告要旨は、ワープロ利用の場合はB5横書きで(横40字・縦30行)で統一して下さい。手書きの場合は原稿用紙一二〇〇字以内でお願いします。

事務局からのお知らせ

1 会費の納入について

振替用紙を同封いたしましたので、本年度分および未納分会費の納入をよろしくお願ひ申し上げます。

2 名簿について

新しい名簿ができましたので同封いたします。所属・住所・電話番号等について誤りや変更がございましたら、事務局あてご連絡いただけますと存じます。

3 次回研究大会について

第一八回研究大会(於摂南大学・大阪府寝屋川市・京阪電車寝屋川駅)の期日が左記の通り決定いたしました。

九〇年十一月二四日(土)・二五日(日)

大会開催の時期は観光シーズンで、また連休中もあり、関西は宿舍の予約がたいへん困難となります。参加予定の先生は早めに予約をお願いいたします。

4 自由報告の募集について

第一八回研究大会の自由報告および小テーマ報告(二〜三人による同一テーマの報告)を募集します。発表ご希望の先生は左記までご連絡をお願い申し上げます。

摂南大学法学部 堀 陽子研究室

大学住所 大阪府寝屋川市池田中町一七―八
電話 〇七二〇―二六―五二〇一(代)

5 学会事務の引継ぎについて

これまで学会の事務局長をされておられました森謙二先生が留学されました。このため学会事務は四月より一年間牧田が引き継ぐことになりました。住所変更等の連絡は今後左記住所あてをお願い申し上げます。

牧田 勲

幹事会 議事録

日時 一八八九年一月二十四日・二十五日
場所 神戸市勤労会館(二四日)
神戸大学(二五日)

(1) 報告事項

1 『比較家族史研究』第四号刊行進捗状況
報告(正岡寛司氏) 一二月二五日刊行の予定。発送は一月上旬。

2 『シリーズ家族史』第一期五巻以降の刊行進捗状況

五・七巻の原稿集まり状況はほぼ九割である。あと一・二巻が未入稿。編集責任者が督促をし、そろった巻から刊行する。

3 学術会議について(井ヶ田良治氏報告)

(2) 審議事項

1 幹事の追加承認

岩本 山輝(社会経済史・東北学院大学)

曾根ひろみ(日本史・神戸大学)

田中 久夫(民俗学・神戸女子大学)

山中永之佑(日本法制史・大阪大学)

堀 陽子(家族法・摂南大学)

清水 昭俊(人類学・広島大学)

なお清水昭俊氏はイギリス留学中なので帰国を待って承諾をとる。

2 新入会員の承認

3 『シリーズの家族史』第二期刊行について

・早稲田大学出版部より刊行することに決まった。

①五年をめどに八巻の予定とする。

②発行部数は一五〇〇〜二五〇〇部。

③頁数は三〇〇頁、目録、索引で一〇頁

④印税は、八%の印税と一%の編集費で合計九%とする。

⑤学会の編集委員で完成原稿をまとめ、出版部にひきわたす。

・刊行委員は、正岡寛司(出版部との連絡係) 江守五夫・利谷信義氏とする。

・責任編集とし、枚数・書き直し・没・テーマの追加・要望など編集委員に裁量権をわたす。

・責任編集委員は、第一巻(家父长制) 鎌田浩、第二巻(家族と教育) 井ヶ田良治、第三巻(家族と墓) 藤井正雄、第四巻(家と屋敷地) 長谷川善計氏とする。

・編集事務局は、各巻の編集責任者が任命し、原稿催促、事務連絡などにあたる。

・執筆要綱は刊行委員で検討し、編集委員に送る。

4 企画委員の選任と共通課題の決定

・三年くらいの共通テーマを予め決定するために、企画委員を選任する。

有地亨(委員長)・堀陽子・孝本貞・田中久夫・永原和子・渡辺欣雄・明石一紀

・九〇年秋のシンポジウムは「嫁と姑」

5 第一七回・第一八回研究大会について

6 広告費について

従来弘文堂、三省堂は無料であるが、有料にして他のところからも広告を取ってはどうかと提案があり、次回以降の検討となる。

総会 議事録

日時 一九八九年一月二六日
場所 神戸大学

(1) 報告事項

1 『比較家族史研究』第四の進捗状況

2 『シリーズ家族史1』五巻以降の進捗状況

3 『シリーズ家族史2』の出版計画について

4 企画委員について

5 第一七回・一八回研究大会について

6 学術会議関連事項の報告

7 新入会員・追加幹事の紹介

住所変更

明石 一紀 日本古代史

社会人類学

渡部 重行 社会人類学

竹田 旦 日本民俗学・文化人類学

(住居表示変更)

※名簿作成につき、作成後連絡のあった方のみ掲載しました。新入会員につきましては次の会報に掲載させていただきます。